

学校番号				
2	2	0	1	2

## 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 24 日

札幌市立新陽小学校

### 1 今年度の重点目標

「みんな輝く学校」～自己有用感を育み、なりたい自分を目指す子どもの育成～

### 2 本年度の経営方針

○子どもの心の居場所がある  
○子ども自身が見通しをもち、学びを楽しめる魅力ある授業  
○『人とかかわりのよさ』を経験できる教育課程  
○地域・保護者に開いた教育

### 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	学年・学級経営の充実	子どもの心情を理解し、適切な指導を行う	B	多様性を認め、子ども一人一人の心に寄り添い、温かな、居心地の良い学級づくりを目指していく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		みんなが想像力をもって、相手の心を思いやり、気を配った言動を心掛けることが多様性を認めることになる。これは子どもも大人も同じことで、とても大切なことである。				
調和のとれた体育のち	学ぶ力	「学ぶ力」育成プログラムの実施	B	「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を子どもが理解できる目標と手段を明らかにした、学び意欲を育てる授業づくりを推進する。	A	A
	豊かな心	命を大切にす指導	B	自分と他者を大切に、いじめが起こらないように指導していく。(道徳の授業・ふれあい活動の充実)(いじめ対策委員会の更なる活用)	A	A
	健やかな体	「健やかな体」育成プログラムの実施	A	子どもたちの運動機会を更に創出したり、運動時間を確保したりしていく。(運動器具の更なる有効活用)	A	A
学校関係者評価委員会による意見		先生方が、子どもたちに運動の楽しさを伝えようと工夫しながら、子どもたちと一緒に取り組んでいる姿が素晴らしい。				
札幌らしい特色ある学校教育の推進	学びの基盤となる【読書】	読書の習慣化	B	読む力を高めるために『朝読書や読み聞かせ』などの読書の魅力を感じ、本に親しみをもつ指導をしていく。	A	B
子どもの発達への支援	不登校支援	校内学びの支援委員会が主体となった迅速な対応と家庭との連携	A	オンラインや別室等を活用し、どこで、いつ学ばかを子どもが選択できる学習環境づくりを更に進める。	A	A
信頼される学校の創造	教員の資質・能力の向上	子どもたちが対話したくなる授業づくり	B	子どもたちが興味関心をもてるような授業づくりと教師同士が日常的に学び合う研修を充実させる。	A	A
教科等の枠組を越えた教育	情報教育	タブレットの効果的な活用	A	タブレットを活用した授業づくりを更に推進する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		お話しの会に自主的に参加する子どもたちが減少してきた。学校・家庭・地域が一体となって読書の楽しさをもっと感じさせる取組が必要。				
学校独自に設定する分野	パートナー校単位での「小中一貫した教育」の推進		A	パートナー校と連携して、知・徳・体の調和の取れた育ちへの取組の推進に更に努めていく。(CS)	A	B
	効率的な教育活動と学校行事の見直し		A	子どもが安全に安心して取り組むことができる教育活動・学校行事等を更に計画していく。(自己有用感の更なる向上を目指して)	A	A
学校関係者評価委員会による意見		コミュニティースクール(CS)の発足に伴って、学校・家庭・地域が協力することで可能性は無限大であろう。地域の特色を活かし、子どもたちのために持続可能な取組を洗い出していくことが必要。大いにお手伝いしたい。				